

2016年3月1日

株式会社サードウェーブエクステンジの株式譲受

－ 事業承継ファンドによる課題解決と成長戦略への支援 －

日本プライベートエクイティ株式会社

URL: <http://www.private-equity.co.jp>

日本プライベートエクイティ株式会社(以下、「JPE」)は、中堅・中小企業の事業承継支援に特化した投資を行うなかで、今般、中古情報端末や中古ブランド品の買取・販売事業を全国展開する、株式会社サードウェーブエクステンジ(本社:東京都千代田区)が発行する株式の全株をオーナー一族から譲り受けました。

1. 本件概要

株式会社サードウェーブエクステンジ(以下、「同社」)は、スマートフォンやパソコン、デジタル家電等の買取・販売ショップ『じゃんぱら』を全国に38店舗展開するほか、高級ブランド品のリサイクルショップ『Roko Shira(ロコシーラ)』を全国に5店舗展開し、店舗とネットを通じたリサイクル事業を運営しています。

中古パソコンや中古パーツの買取・販売を行う『じゃんぱら』を1999年より秋葉原を中心に本格的に展開、2008年以降、中古携帯電話の買取・販売事業を開始し、近年では、携帯電話からスマホへの乗り換えが進むに伴い、スマホの取り扱いが主力となっている他、海外の高級ブランドバッグを中心とした中古ブランド品の取り扱いも拡大しています。

こうした事業背景の下で、同社の業績は年商100億円を超える勢いで成長軌道にあるものの、同社のオーナー経営者が2005年に急逝されてから、オーナー一族のなかで事業承継問題を抱えたまま、現在に至っていました。

今回、資本と経営におけるねじれを解消し、オーナー一族の事業承継に関わる問題を解決すると同時に、同社の今後の経営と成長戦略を共に描き、さらなる成長を実現するため、JPEが運営する事業承継ファンドでオーナー一族が保有する全株式を譲り受けました。

2. 会社の特徴

『じゃんぱら』は、日本における電気街の総本山ともいえる秋葉原からビジネスを展開、当初の主力事業であった、中古パソコン・パーツの取り扱い経験やノウハウを中古スマホの展開にも活かしながら事業を拡大してきました。最近では、下北沢や町田をはじめ、都内での出店を加速しており、現在、札幌から熊本まで全国に38店舗を展開しています。

全国の店舗を通じて、個人を中心に買取・販売をしていますが、買取価格のわかりやすさや安心感といった、永年の実績と経験豊富で誠実な現場対応で、“いつでも”“手軽に”“安心して”取引ができる企業として、顧客からの信頼を得ています。

もう一つの事業の柱となっている『ロコシーラ』は、1998年にブランドリサイクルショップとして銀座にオープン、現在、銀座本店をはじめ、新宿、名古屋(大須)、大阪(戎橋、心齋橋)の5店舗にて、バッグ、ジュエリー、時計、洋服等の海外の高級ブランド品の買取・販売を行っています。買取については、日本流通自主管理協会(AACD)に加盟し、厳しい真贋判定基準の下で新品と変わらないレベルで徹底したメンテナンスを行っているほか、販売においても、直営ブランドショップを超えるほどの豊富な品揃えを誇るなど、“安心”と“感動”を提供できる店舗を展開しています。

個人に対する買取・販売はもちろん、東南アジアや中国からの個人や専門業者をはじめとした根強い需要に加えて、昨今では、インバウンド需要も加わり、売上は堅調に拡大しています。

3. JPEとしての取り組みの背景

(1) ユニークなポジショニング

“リユース市場”と呼ばれる、中古品の買取・販売業界において、“総合リユース企業”としては、株式会社ゲオやブックオフコーポレーション株式会社が代表的な企業であり、中古ブランド品の分野では、株式会社コメ兵や株式会社大黒屋が大手として挙げられます。

ただ、リユース業界でも、同社が展開する『じゃんぱら』と『ロコシーラ』の両事業は、いずれも、立地、取扱品目・点数、価格帯、人材管理等、大手とは一線を画した独自の方針で運営、展開しているといえます。

『じゃんぱら』は、中古パソコン、携帯電話等の情報端末分野の買取・販売では“老舗”であり、同社が提供する「(携帯電話の)分割買取サービス」は2011年にビジネスモデル特許を取得しているのをはじめ、「おまかせ買取(通信)」や「9割買取」など、同社独自のサービスを展開し、業界においても、非常にユニークなポジショニングにあると捉えています。

また、『ロコシーラ』についても、特定のブランドに注力し得意なカテゴリーとすることを一つの強みとして展開し、顧客から高い信頼と実績を得ていることから、底堅い販売の実績や“ブランドトレードセンター”としての知名度やその機能を高く評価しました。

(2) リスク対応と成長可能性

今後、短期的には、総務省による実質 0 円端末の販売規制の影響やMVNO(仮想移動体通信事業者)による格安スマホブームの動向も無視できないものの、基本的には、リユース事業は需要と供給のなかで成り立つビジネスであり、情報端末機器の市場が中長期的に拡大するなかで中古品への需要は常に見込まれ、中古品マーケットもあわせて拡大していくものと見込まれます。特に、同社が展開する、中古情報端末のマーケットは、新規出店、取扱商材や顧客層の拡大、ネットをはじめとした販売ルートなどの拡大等のあらゆる面での成長可能性を秘めており、変化の激しいマーケットにおいても的確にリスク対応できる管理体制の下、新しい需要の開拓と創造を実現できる企業であると判断しました。

(3) “事業承継問題の解決”と“成長戦略の実現”

JPEでは、同社が順調に成長を遂げ、財務的にも健全な企業であるにもかかわらず、オーナー企業としての事業承継に伴う課題を抱え続けていることで、さらなる成長の実現が阻まれていると考え、JPEが運用する事業承継ファンドで、オーナー一族から株式を譲り受けることにより、事業承継問題の解決を図ると同時に、現任の非同族のプロパー経営者や社員の方々とともに、将来性ある事業をさらに成長させていくことが、同社の関係当事者すべてにとって最善の策であると判断いたしました。

また、非常にオペレーションが難しい事業でありながらも、同社のユニークなポジショニングとその成長を実現してきた、現・経営者のバランス感覚と経営手腕、現場を支える社員の方々が有するノウハウやオペレーションの質を高く評価しました。

JPEでは、こうした店舗運営のノウハウや現場を支える人材、さらには、人材重視の経営姿勢が同社発展の礎であると考えており、今後、JPEから派遣する社外役員も含め、現経営者をはじめ社員の方々とともに内部体制の強化や成長戦略の実現に取り組むことで、同社が、今後の業界における“規範”となる企業として、次のステージへと躍進することを目指します。

4. 本件に関するお問い合わせ先

日本プライベートエクイティ株式会社

東京都千代田区九段北 1 丁目 14 番 21 号 九段アイレックスビル 6F

Tel:03-3238-1726 Fax:03-3238-1639 担当: 企画部 (info@private-equity.co.jp)

5. 各社概要

□ 株式会社サードウェーブエクスチェンジ <http://twex.jp/>

本社所在地	東京都千代田区外神田 3 丁目 16-17
設 立	1997 年 12 月
資本金	10 百万円
代表者	小林 直純
従業員数	346 名 (*パート・アルバイト含む)
事業内容	パソコン・スマートフォン・デジタル家電の買取・販売事業 高級ブランド品の買取・販売事業

□ 日本プライベートエクイティ株式会社 <http://www.private-equity.co.jp/>

本社所在地	東京都千代田区九段北 1 丁目 14 番 21 号
代表者	法田 真一
資本金	60 百万円
事業内容	中小企業の事業承継や事業再編を対象としたプライベート エクイティファンドの運営、コンサルティング

以 上